

「1年を振り返って」

校長 松田圭右

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。この3月1日には3年生は全員卒業をし、1年生2年生も、それぞれ在籍者全員が無事進級を果たしております。

今年度は、生徒達の課外活動の活躍が目覚ましい年でした。体育系部活動ではバドミントン部の全道大会出場、クロスカントリースキー部では2名の日本一をはじめ素晴らしい戦績を修めました。文化系部活動では高文連美術大会、において全国推薦、学生美術全道展での最優秀賞をはじめ多くの生徒が入選、入賞を果たし、日頃の取り組みと自分達の可能性に、希望と自信を持つ事が出来た年であったと感じます。

保護者の皆様、村の皆様には引き続き、応援をお願い致します。

一方、9月には本校でも震災によるブラックアウトを経験し、災害時の課題が明らかになりました。また、地震に伴いデザインスクールが遅延になり、冬には村民スキー場リフトの故障により、保護者の皆様にはご不便とご心配をおかけしました事をお詫び致します。

年末には、学校評価の為の「学校の取組についてのアンケート」を全生徒、保護者の皆様にご協力頂き実施致しました。保護者の皆様方には、身に余る評価結果をいただき、ありがとうございました。しかしながら、課題も明らかになったところです。次年度は進路指導の一層の充実を図って参ります。ホームページの生徒活動写真の充実については、次年度から改善の目処が立ちました。

この春休み、生徒達は各学年一歩進む大事な時であり、高大接続改革、新学習指導要領に伴うカリキュラム改編期を控え学校教育が大きく変わろうとしている現在、我々も生徒と向き合い目標を立てて行く時期であります。楽しいだけのキャンパスライフ、心の準備・成長が出来ていない就職とならぬよう取り組んで参ります。

保護者の皆様には、どうぞ生徒達との対話の中から生徒達の自己目標の明確化のためのご支援の程宜しくお願い致します。

転出者より

ふじまつ けいじ
教頭 藤松 慶弼

2年という短い期間ではありましたが、北海道唯一であり、全国でも少ない工芸科の高校で、親元を離れて一所懸命自分を磨き続けている生徒の皆さんの姿に、いつも元気をもらっていました。また、音威子府村の皆さんにも大変お世話になりました。次の任地は、目前に国後島を望む風光明媚な地域で、世界遺産の知床にも近い場所です。音威子府での経験を活かしてより良い北海道教育の実現に全力を注いでいこうと思っています。大変お世話になりました。

いけだ のりお
数学科 池田 教朗

2013年4月にこちらに来てから6年経ちました。来たときまま組み立て室から聞こえる「カンカンカン」という音が新鮮に感じたことをいまだに覚えています。工芸や美術が好きで一生懸命に制作に励んでいる生徒の皆さんを見て、自分もできる限りではあるけど一生懸命にやっていたと思う、今に至っています。勉強になりました。その中で至らない点が多々あったにもかかわらず、様々な形でサポートして下さった多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

かわそえ りゆういち
工芸科 川添 龍一

生徒のみなさん、ひたむきに制作に向き合う姿が、素敵です。寮生活で息苦しく感じる日もあったと思いますが、人として大切なことを身につけ、自律の一步を踏み出す姿が、素敵です。同じ方向を向いて夢を語り合う姿も、困った人がいれば誰から指示されなくとも助け合う姿も、素敵です。私は7年間、おと高でみなさんの姿を見てきましたが、こんな姿を見られる学校は、そうないでしょう。みなさんが、これらのことを当たり前でできるのも、支えてくれる人がいるからです。感謝の気持ちを忘れずに、過ごしてください。

そして、転出することになった私が、ここまでおと高でやってこられたのは、生徒、保護者、地域の皆さんのおかげです。本当にお世話になりました。一生忘れることなく、過ごしていきたいと思っています。ありがとうございました。

できごと

「クロカン部大活躍」

今年もクロカン部は大活躍してくれています。高校選手権北北海道大会で男子リレーが優勝し、全国大会では2年の柄谷和さんが高校総体初優勝、これは本校女子クロカンで初の快挙です。国体のリレーでは本校の3年長岡君が出場し優勝と、大活躍の年となっています。これからもおと高クロカン部はねっぶ魂で頑張ってくれることでしょう、応援よろしく願いいたします。



「卒業制作発表」

1月に行われた卒業制作発表では今年も多く力作が勢揃いして、制作に込めた思いを発表しました。後輩達やご覧いただいた方々からの質問にしっかり答えている姿は、もう立派な大人です。今後の活躍に期待します。



「スキー授業」

今年は音威子府のスキー場がリフトの故障で使用できないため、枝幸町まで行っての授業になりました。普段とは違うゲレンデで流水を見ながら滑るスキーは、楽しさも大きかったようです。



「3年生を送る会」

寮生会が一所懸命企画して実行される三送会は、3年生にとっても在校生にとっても思い出に強く残るものとなりました。この音威子府での経験は今後の支えになることと思います。



「卒業式」

3月1日に平成30年度第33回卒業証書授与式が行われました。今年も男子14名女子25名計39名が本校を巣立って行きました。これからは、社会の中で本校で学んだことを活かしながら、活躍してくれることと思います。



「職員異動」

「転出」

藤松 慶弼 教頭
「北海道標津高等学校(教頭)」
池田 教朗 教諭(数学)
「北海道野幌高等学校(教諭)」
川添 龍一 教諭(工芸)
「北海道石狩翔陽高等学校(教諭)」

行事

- 3月22日 修了式
- 23日 帰省日
- 4月7日 帰寮日
- 8日 着任式・始業式・入寮式
- 9日 第35回入学式
PTA・体文総会
- 11日 対面式
- 22日～26日 見学旅行(3年)
- 26日 全校集会(1・2年)
- 27日 帰省日
4/27～5/6 GW休み
- 5月6日 帰寮日
- 日程未定：結核検診(1年)
内科検診(全学年)
2計測・聴力・視力検査

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめ不登校 体罰などの学校教育に関する悩み 子育て・シニアなど
家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談 ☎ 0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談 (10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)
子ども相談支援センター 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話番号で予約ください。

センターのWebページに「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>